



品質コンプライアンスリスク 自己評価支援

EY新日本有限責任監査法人
Forensic & Integrity Services (Forensics)

品質コンプライアンスリスク管理の必要性

品質不正やデータ偽装といった不正・不適切行為が発覚した企業では、現場の品質コンプライアンスリスクが適切に認識されておらず、リスクに対応した内部統制が整備されていなかったことが問題として指摘されています。

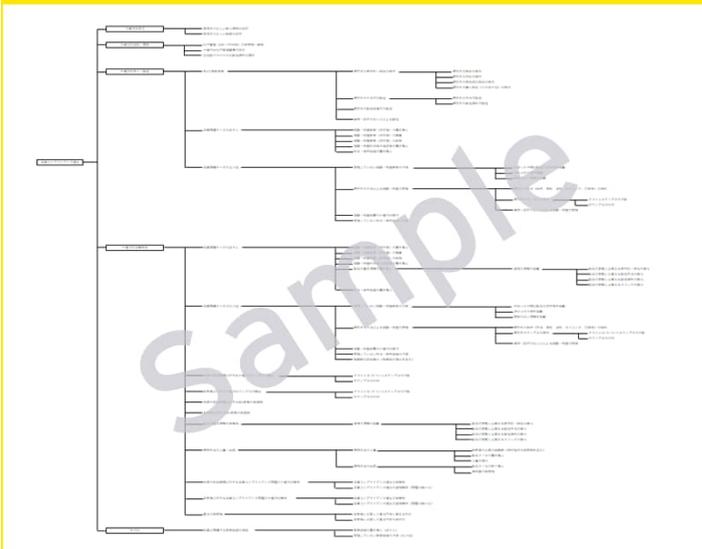
また、ISO9001:2015の改訂においては「リスク及び機会」の考え方が見直され、「リスク(ネガティブな影響を及ぼす変化)」と「機会(ポジティブな影響を及ぼす変化)」を明確に切り離すことが議論されています。これにより、ISO9001:2015の認証維持のためにも品質に関連するリスクを認識し、対応することが要求されるものと考えられます。今後、企業にネガティブな影響を及ぼす代表格である品質コンプライアンスリスクを管理する必要性がますます高まっていくでしょう。

「品質コンプライアンス・リスクユニバース」の活用

品質コンプライアンスリスク管理では、想定されるリスクの棚卸しを行うことがその第一歩です。一方で、想定すべき不正・不適切行為の手口は多種多様かつ広範に及ぶため、時間と労力が必要な作業となることが懸念されます。

さまざまな業界・業種の企業で発覚した品質に関する不正・不適切行為の実例や手口を参考に、EY Forensicsが独自に品質コンプライアンスリスクを体系的に整理した「品質コンプライアンス・リスクユニバース」や評価ツールを活用し、全社的な品質コンプライアンスリスクの自己評価の設計・実施を支援します。

品質コンプライアンス・リスクユニバース(EY Forensics作成)



支援例

EY Forensicsは、「品質コンプライアンス・リスクユニバース」を活用した業務プロセスにおける品質コンプライアンスリスクの識別、現場の従業員と連携したリスクの分析、その分析結果に基づきリスクの評価及び課題の特定を支援します。

Step1 リスクの識別

品質コンプライアンスリスクの検討

- 「品質コンプライアンス・リスクユニバース」を活用し、ビジネス特性に鑑みて想定するリスクを検討します

想定される品質コンプライアンスリスクの特定

- 各業務プロセス(品質保証体系図やQC工程図など)にリスクをマッピングし、評価対象とするリスクを決定します



Step2 リスクの分析

業務プロセスにおける統制の整備状況の自己評価

- 品質コンプライアンスリスク評価シートを対象部門に配付し、あらかじめ設定した評価基準を基に自己評価を行います

品質保証部門とEY Forensicsによる自己評価結果のレビュー

- 上記の自己評価結果を受領し、内容を確認の上で必要な場合は追加手続の実施や評価結果の補正を行います



Step3 リスクの評価

対象拠点・組織のリスク評価結果の取りまとめ

- Step2で分析した各業務プロセスの品質コンプライアンスリスクを集約し、各拠点・組織の評価結果を取りまとめます

留意すべき課題の特定

- 全社的あるいは拠点別に対処すべき課題を整理します



本サービスの特徴

多様な類型・手口を
想定したリスク評価

EY Forensicsが持つ「品質コンプライアンス・リスクユニバース」を基に、各企業のビジネス特性を考慮したリスクを識別することで、さまざまな類型・手口の品質コンプライアンス違反を想定したリスク評価を効果的かつ効率的に行うことが可能です

現場が主体となり
リスクを考えるアプローチ

現場の従業員が品質コンプライアンスリスクの管理状況について、主体的に検討する自己評価のアプローチを採用することで、担当業務におけるリスクを自分事として考えさせるとともに、作業の意義・目的を再認識させる効果が期待できます

拠点・組織における
リスクの可視化

各拠点・組織の品質コンプライアンスリスクを業務プロセスごとに分析した結果に基づきリスク傾向を可視化することで、現状把握や拠点間比較などを可能とし、その結果を改善活動やモニタリングに活用することができます

お問い合わせ先

EY新日本有限責任監査法人 Forensic & Integrity Services (Forensics)

Tel: 03 3503 3292 Email: forensics@jp.ey.com

EY | Building a better working world

EYは、「Building a better working world ～より良い社会の構築を目指して」をパーパス(存在意義)としています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。

150カ国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。

アシュアランス、コンサルティング、法務、ストラテジー、税務およびトランザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起(better question)をすることで、新たな解決策を導きます。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EY新日本有限責任監査法人について

EY新日本有限責任監査法人は、EYの日本におけるメンバーファームであり、監査および保証業務を中心に、アドバイザリーサービスなどを提供しています。詳しくはey.com/ja_jp/people/ey-shinnihon-llcをご覧ください。

© 2024 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved. ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EY新日本有限責任監査法人および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

ey.com/ja_jp